C-ペプチド(CPR)	1402000
	担当部署
CPR	生化

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体
保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部					
測定時間	当日中～翌日					
生物学的基準範囲	0.74- 3.18 ng/mL AIA-パック CL　C-ペプチド添付文書					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0.74	3.18	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	C-ペプタイドは、プロインスリンからインスリンを分解生成する過程に切り離されて生じる副産物である。 プロインスリンから等モルのインスリンと C-ペプタイドが生じ、両者の血中分泌動態には基本的に並行関係が存在することから、C-ペプタイドの測定によってインスリンに代えることができる。 特に抗インスリン抗体の存在によってインスリン測定が困難な場合に有用である。 なお、免疫学的手法にて測定される C-ペプタイドを CPR(C-peptide immunoreaclivity)と呼び、こうした測定系で用いられる抗体は多少なりともプロインスリンに交差反応を示す. 三菱化学メディエンス　検査項目解説　改訂第 4 版 289					